



加東市

議会だより

6月定例会



メニュー

- ☆なすのまろやかドライカレー
- ☆やさいたっぷりとうにゅうスープ
- ☆バナナはるまき



みんなでたのしくクッキング

6月11日(土)小学生チャレンジスクール「料理教室」が小野加東栄養士会の皆様と市内の小学生34名が参加し、滝野公民館で開催されました。

始めは少し緊張気味でしたが、段々と料理が完成するにつれ楽しそうな笑顔がとても印象的でした。



● 6月定例会	2
● 議会ICT推進研究部会報告	5
● 総務文教常任委員会報告	6
● 産業厚生常任委員会報告	8
● 第10回 議会報告会	10
● 一般質問	11
● 加東のええトコ! ~昭和池築造~	16

スクールソーシャルワーカー

子どもたちの多様化する課題に対応して中学校へ配置

第65回加東市議会定例会は、6月3日から6月28日の26日間の会期で開会した。市長から提案された専決処分承認2件、報告6件、各会計補正予算、条例の一部改正など18議案を審議、いずれも原案のとおり可決した。また、議会諮問第4号に答申し、請願1件を採択した。

21日には**一般職職員給与と条例の一部改正理由**の高度な知識・経験が必要と認められる医長については、上位の級の部長と同じ職務の級とするため。

**一般会計補正予算（第1号）
専決処分の承認**

専決の理由

熊本地震の被災地への支援についてその費用が必要となったが、議会を招集する時間的余裕がないと認められたので専決処分した。

【問】自動車借り上げ料200万円はどのような用途か。
【答】現地での車の借り上げ料が主なものである。
【問】何台借り上げる予定か。
【答】1台だが、20班分の延べ台数を予算計上している。

全会一致で承認

一般会計補正予算（第2号）

【問】学びサポート協力校の指定を受けているが、目標の設定は考えているのか。
【答】結果を求めめるのは大切なことだ。子どもの学習上のつまずきに対応することになった時、学力がどう変わ

ったのか、どのような効果があったのかを明確にしていきたい。

【問】スクールソーシャルワーカーの配置が2校になっ

ているが、この考え方は妥当なのか。
【答】これは県が初めて全市町に補助事業として実施するもので、当市ではまず、2中学校に配置する予定である。県は31年度までの4年間で全中学校区への配置を考えているので、当市もそれにあわせて将来的には全小中学校区に配置していきたい。

【問】2校で1人配置の意味は。

【答】1人が2つの拠点校へ週に1回ずつ行っていただく。

【問】学校からの要望があつて配置するのか。

【答】様々な事案があり、関係機関とつなぐなど、支援の中心となることを学校も期待している。



※スクールソーシャルワーカーとは、家庭と子どもを取り巻く環境に働きかけ、問題解決に向け児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。

【問】寄附による備品購入費で、何を購入するのか。

【答】東条西小学校と滝野中学校に赴任していた元校長のご遺族からの寄附で、東条西小学校はトーンチャイムとデジタルタイマー。滝野中学校は床置き式の時計を考えている。

【問】空き家等対策協議会委員の数と内容は。

【答】12名以内で、空き家対策に関する計画の策定を主に考えていく。

【問】現在の空き家の数は。
【答】25年の住宅・土地統計調査では、約5千500戸だが、28年度での調査で実態が分かると思う。

【問】数が確定してからでないで審議会が成り立たないのでは。

【答】実態を把握したうえで協議して計画を策定していただく経緯は。

【答】補助金が確定したのは3月で、当初予算の段階では間に合わなかったため。

【問】この事業は補助率10割だが、本体工事はどうなるのか。

【答】国が50%だが、今後は補助率の良いところを考えていきたい。

全会一致で可決

介護保険保険事業会計補正予算（第1号）

【問】認知症初期集中支援チームの専門医は、どういう方を想定されているのか。

【答】市立西脇病院と市内の個人医院に、医師等の派遣を委託する。

全会一致で可決

【問】この医長に該当する人数は。
【答】高度な技術や知識を持つ医師で、場合によっては、年齢で部長に相当しない医師でも来ていただけるよう適用させていただきたい。今の人を上げるような条例改正ではない。

【問】医師を確保されるためにこの制度を導入するのか。

【答】眼科・泌尿器科では手術をしないと収益が上がらないので、若い有能な医師を招聘するのに部長相当職で来ていただきやすい環境を整える意味でも導入したい。

【問】この医長に該当する人数は。

【答】高度な技術や知識を持つ医師で、場合によっては、年齢で部長に相当しない医師でも来ていただけるよう適用させていただきたい。今の人を上げるような条例改正ではない。

【問】医師を確保されるためにこの制度を導入するのか。

【答】眼科・泌尿器科では手術をしないと収益が上がらないので、若い有能な医師を招聘するのに部長相当職で来ていただきやすい環境を整える意味でも導入したい。

全会一致で可決



南山活性化支援施設 (仮称)

設計・施工業者決まる！

～若いお母さん・子どもたちのために～

職員の旅費に関する条例の一部改正

改正理由 職員が他の機関の依頼に応じたり、職員以外の者が市の機関の要請により公務で旅行した場合に旅費を支給するため。

施行日 公布の日

【問】今までに不具合な実態があったのか。

【答】教師が出張する場合は県費負担だが、市の方針で同行していただくことも今後考えられるので、この条例を制定した。市職員以外の方の費用は謝金(報償費)という形で出していたが、この際きっちり統一したいと思っている。

【問】公布の日はいつを予定されていて、財政への影響はないのか。

【答】現在、不具合があつて即実行するものではない。公布については、議決後直ちにさせていただく。予算的なものについては、補正予算等でお願することに

【問】保健衛生推進委員等、市から委託された委員の方が研修で行く場合も対象になるのか。

【答】市の例規上で委員の報酬が決定しているものについては、旅費規定の条例で対応したい。

全会一致で可決

放課後児童健全育成事業の基準を定める条例の一部改正

改正内容 国家戦略特別区域限定保育士の資格者を放課後児童支援員とすることができ規定を加える。

施行日 公布の日

【問】加東市はこの区域に指定されていないが、これを作る必要があるのか。

【答】国から、区域に指定されていなくても条例改正をすべきとの指示があつた。

【問】限定保育士を雇うことの議論をするまでに条例を制定してしまうのは、納得いかないが。

【答】基準を条例で定めるにあたっては、従うべき基準と参酌すべき基準があり、これは従うべき基準である。と国からの回答を得ている。

全会一致で可決

下水道事業会計補正予算(第1号)

「経営戦略策定支援業務

委託料」を補正計上する。
【問】定例会初日に提案できたと思うが。

【答】平成29年度に予定していたが、5月中旬に国の方針が固まったため、前倒しで第3日の提案となった。

全会一致で可決

南山活性化支援施設(仮称)の設計施工契約締結



完成予想図

契約の相手方

積水ハウス(株)福知山支店
3億844万8千円

【問】入札参加者の内、どこが優れていて決定したか。

【答】審査項目は市のHPで公表しているが、機能的で園庭が工夫されており、市が求めているレベルを超える提案があつた。

全会一致で可決

小型動力ポンプ付積載車等購入

◆ポンプ付積載車4台
野村・家原・中古瀬・曾我
◆ポンプ無積載車2台
貝原・喜田

以上6分団

全会一致で可決

契約の相手方
(有)岡本ポンプ
6553万4千4百円

全会一致で可決

太陽光発電実施にあたり、自然・住環境との調和を求める請願

産業厚生常任委員会へ付託 (P8)

賛成討論

設置場所によっては自然環境や生活環境に大きな影響を与えており一定の規制が必要である (小紫)

賛成多数で採択



太陽光パネル

平成28年度 各会計補正予算

(単位:千円)

会計種別	補正額	補正後の額	主な内容
一般会計(第2号)	△88,749	21,204,814	小学校施設整備事業 △108,057 農業水利施設保全合理化事業 13,000
特別会計			
介護保険事業(第1号)	120	3,277,405	在宅医療・介護連携推進事業 96 生活支援体制整備事業 256 認知症総合支援事業 △232
企業会計			
水道事業(第1号)	資本的支出 7,560	780,298	配水管移設工事請負費 7,560
下水道事業(第1号)	収益的支出 14,688	2,116,203	経営戦略策定支援業務委託料 14,688
病院事業(第1号)	収益的収入 1,934	1,803,954	訴訟に係る費用に対する保険金等 1,934
	収益的支出 2,437	2,103,213	弁護士委託費用 865 慰謝料及び遅延損害金 1,572

平成27年4月1日～平成28年3月31日

公益財団法人 加東文化振興財団 事業報告

事業名	日	場所	入場者数	
			延べ	当日
名越康文講演会	5月9日(土)	東条文化会館	530人	
デュメイ&関西フィル特別演奏会	5月24日(日)	東条文化会館	343人	
週末よしもお笑いライブin加東	6月21日(日)	東条文化会館	584人	
茨木智博オカリナコンサート	7月26日(日)他	やしろ国際学習塾	延べ221人	
スタンウェイを弾いてみよう	8月1日(土)他	やしろ国際学習塾	延べ70人	
星のお兄さんプラネタリウムSHOW	8月16日(日)	滝野文化会館	277人	
アンサンブル・フェスティバルひょうごin加東	9月21日(月・祝)	やしろ国際学習塾	369人	
木管コンクール	10月15日(木)～18日(日)	東条文化会館	延べ708人	
音楽の日in加東	10月25日(日)	やしろ国際学習塾	延べ742人	
保科塾指揮者講習会	11月29日(日)	東条文化会館	77人	
ふたり芝居 東おんなに京おんな	12月13日(日)	東条文化会館	433人	
磯絵里子&新垣隆おしゃべりコンサート	1月16日(土)	やしろ国際学習塾	444人	
スーラシアプラス&弦うさぎ	2月21日(日)	滝野文化会館	374人	
谷村新司「ココロの学校」	3月20日(日)	東条文化会館	544人	
かとうきらめきシネマ	5月31日(日)他	滝野文化会館 やしろ国際学習塾	延べ825人	
加東市アウトリーチ事業	9月1日(火)他	市役所ロビー、他	延べ413人	
音楽・バレエ教室			延べ162人	
教室の演奏会			延べ2,488人	
加東プラスフェスタ	7月12日(日)	やしろ国際学習塾	725人	
かとう民謡フェスティバル	9月13日(日)	滝野文化会館	404人	
加東市合唱祭	3月13日(日)	やしろ国際学習塾	629人	
加東音楽めぐり	11月7日(土)他	社4区公民館他	延べ318人	
学校公演	11月9日(月)他	東条東小学校他	延べ521人	
ライブフリー夏	8月2日(日)	滝野文化会館	63人	
はりまコレクション	2月7日(日)	やしろ国際学習塾	273人	
友の会	個人会員728、法人会員18、合計746会員			
指定管理者制度	平成25年度から3年間、「やしろ国際学習塾」「滝野文化会館」「東条文化会館」の指定管理の3年目で公演数・公演種類共に増やし、お客様の希望に沿った公演を行うことができた。			



やしろ国際学習塾



滝野文化会館



東条文化会館

各施設の利用状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

施設名	使用件数(件)			利用者数(人)		
	平成27年	平成26年	増減	平成27年	平成26年	増減
やしろ国際学習塾	698	609	89	39,567	32,660	6,907
滝野文化会館	557	515	42	27,297	26,662	635
東条文化会館	597	593	4	22,814	23,667	△853

株式会社 夢街人とうじょう 事業報告

売上状況 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (単位:千円)

施設名	平成27年	平成26年	対前年比
特産館「夢街人」	77,104	61,047	126.3%
農産物直売所「コスモスの館」	113,105	91,985	123.0%
コンビニ「ファミリーマート」	197,277	188,920	104.4%
レストラン「獅子銀」	67,738	67,647	100.1%



道の駅 とうじょう

利用状況 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (単位:人)

(参考) 「道の駅とうじょう」の周辺環境数値

施設名	平成27年	平成26年	平成25年	項目	平成27年	平成26年	増減
特産館「夢街人」	80,493	58,440	52,525	ひょうご東条IC出入交通量	1,456,677台	1,334,169台	122,508台
農産物直売所「コスモスの館」	152,326	124,784	88,140	同 一日当たり平均	3,991台	3,655台	336台
コンビニ「ファミリーマート」	365,557	346,119	315,809	南山地区人口(3月末 住基人口)	1,295人	1,177人	118人
レストラン「獅子銀」	61,681	57,602	54,328	おもちゃ王国入場者数	485,284人	453,195人	32,039人

第65回定例会 議決結果一覧 (賛否の分かれたもの)

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

議案番号	議案	大畑 千代	藤浦 巧	高瀬 俊介	長谷川 幹雄	石井 雅彦	岸本 真知子	小川 忠市	小紫 泰良	磯貝 邦夫	藤尾 潔	安田 朗	長谷川 勝己	桑村 繁則	山本 通廣	二階 一夫	井上 茂和	議決結果
請願第28-1号	太陽光発電の実施にあたり、自然・住環境との調和を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決(賛成14反1)

※その他の議案は全会一致で可決

議会のICT化をめざして

丹波市議会視察と中間報告



丹波市役所正面

歓迎看板

膨大な紙資料の削減と事務の簡素化を目指して、当市議会は、3月定例会にて「加東市議会ICT推進研究部会」（藤尾潔部会長、長谷川幹雄、石井雅彦）が発足し、5月10日、丹波市議会の視察を行った。

ICTとは…Information and Communication Technologyの略で、「情報通信技術」のことをさす。学校ではすでにパソコン・電子黒板やタブレットを使った授業が始まっている。ICT端末としてはスマートフォン、タブレットが普及している。

行政視察

議会ICT推進研究部会

丹波市議会では、タブレット端末の導入を3年前から検討を始め、ICT推進チームを組んで先進地視察もしながら平成26年11月に全議員用のタブレット端末を購入された。



藤尾部会長の挨拶

それ以降専門のシステム会社と契約し、議員研修も行いながら平成27年3月定例会から使用を開始した。ただ、この時は紙媒体資料と併用していたので、新たにICT活用チームを発足して検討を続け、6月定例会から一部資料のペーパーレス化を実施された。



タブレットのイメージ

2回の会議と丹波市議会の行政視察の結果を、5月27日の議会運営委員会にて藤尾部会長が報告をした。

中間報告



市役所前にて

今回の視察で勉強になったところは、推進チームで使用基準や要綱を決め、議会運営委員会にてその都度資料にて報告をしながら少しずつ進められたこと。そして、当初の推進チームから移行して活用チームを発足させ機器の苦手な議員をチームに入れて研究していることであった。

議会日誌

《主なもの》

4月	5月	6月
12日 産業厚生常任委員会	9日 全員協議会	3日 第65回定例会（1日目）
11日 議会報告会実行委員会	9日 総務文教常任委員会	2日 総務文教常任委員会
10日 議会広報委員会	9日 加古川市議会行政視察御来庁	1日 産業厚生常任委員会
11日 総務文教常任委員会	9日 議会ICT推進研究部会（丹波市視察）	30日 議会報告会実行委員会
12日 議会広報委員会	9日 議会ICT推進研究部会	29日 議会報告会実行委員会
13日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	28日 議会報告会実行委員会
14日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	27日 議会報告会実行委員会
15日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	26日 議会報告会実行委員会
16日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	25日 議会報告会実行委員会
17日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	24日 議会報告会実行委員会
18日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	23日 議会報告会実行委員会
19日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	22日 議会報告会実行委員会
20日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	21日 議会報告会実行委員会
21日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	20日 議会報告会実行委員会
22日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	19日 議会報告会実行委員会
23日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	18日 議会報告会実行委員会
24日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	17日 議会報告会実行委員会
25日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	16日 議会報告会実行委員会
26日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	15日 議会報告会実行委員会
27日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	14日 議会報告会実行委員会
28日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	13日 議会報告会実行委員会
29日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	12日 議会報告会実行委員会
30日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	11日 議会報告会実行委員会
31日 議会ICT推進研究部会	9日 議会ICT推進研究部会	10日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	9日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	8日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	7日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	6日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	5日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	4日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	3日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	2日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	1日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	31日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	30日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	29日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	28日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	27日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	26日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	25日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	24日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	23日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	22日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	21日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	20日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	19日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	18日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	17日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	16日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	15日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	14日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	13日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	12日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	11日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	10日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	9日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	8日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	7日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	6日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	5日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	4日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	3日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	2日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	1日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	31日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	30日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	29日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	28日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	27日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	26日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	25日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	24日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	23日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	22日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	21日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	20日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	19日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	18日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	17日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	16日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	15日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	14日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	13日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	12日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	11日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	10日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	9日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	8日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	7日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	6日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	5日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	4日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	3日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	2日 議会報告会実行委員会
	9日 議会ICT推進研究部会	1日 議会報告会実行委員会



「ふるさと納税」の拡充

企業からの受け付けも開始

総務文教常任委員会

付託議案審査

加東市条例等の一部改正

〔制定理由〕

地方税法の改正及び行政不服審査法の施行に伴う改正。

〔制定内容及び施行期日〕

◎修正申告等に係る個人及び法人の市民税について、延滞金の計算期間から一定の期間を控除する。

(平成29年1月1日)
◎環境性能割の創設に伴う延滞金の規定を整備。

(平成29年4月1日)
◎法人税割の税率を100分の6に引き下げる。

(平成29年4月1日)
◎特定一般用医薬品等の購入による医療費控除の創設。

(平成30年1月1日)
◎軽自動車税の環境性能割の創設及び現行の軽自動車税を種別割に区分及びグリーン化特例の1年延長。

(平成29年4月1日)
◎行政不服審査法の施行に伴う文言整理。

(平成28年4月1日)

〔問〕法人市民税の税率引き下げによる影響は。

〔答〕29年度で42万7千円、30年度で1億629万4千円、31年度で1億951万円の減収が見込まれる。

〔問〕特定一般用医薬品とは。

〔答〕従来、医師の処方箋がある医薬品のみが対象であったが、特定検診や予防接種を受けられた方が前提であるが、その処方に基づき医薬品を一般の薬局で購入したのも対象となる。

全会一致で可決



エコカー

所管事務調査

平成28年度実施加東市職員採用計画

27年度に自己都合により退職した職員数を、業務の遂行を適切かつ迅速に行うために補充する必要があることから、今年度も10月採用試験を実施し対応する。

本年度実施の職員採用計画は平成29年4月1日採用予定者を含め16名とし、職種内訳は、一般事務職が新卒9名、障がい者枠1名、高卒1名、Uターン1名、

専門職として土木職1名、保健師2名、保育教諭1名とし、年3回の募集を行い職員数319名の確保に努める。

〔問〕土木職で1名とあるが、資格が必要なのか。

〔答〕土木職に必要な過程を修めた者及び修める見込みがある者、又は数年間の経験を有する者となる。

〔問〕一般事務職で障がい者を1名採用予定であるが法的にクリアできるのか。

〔答〕現在、障害者雇用促進法の規定を人数的にクリアしているが、率的にクリアするため10月には採用した。

〔問〕寄附制度拡充の件について

〔趣旨〕市の自主財源の確保を目的に「ふるさと納税」に取り組んでいるが、現状は個人のみを対象としたものであり特定の事業への寄附として取り扱っていない。

今後、寄附者の意向に沿った特定の事業への活用や特定の団体への寄附として受け付ける制度を創設する。

企業からの寄附についても同様の制度を設けることで市への寄附制度の充実を図り財源の確保に努める。

さらに寄附者の意向に沿った寄附金の活用を見える化するため、その使途を公表する。

〔問〕寄附制度の拡充は良いと思うが、返礼品の拡充で本来の目的に反する事があると聞いたが国の指導はあるのか。

〔答〕金券であるとか換金可能な物は駄目である等、一定の指導はある。

〔問〕本来、ふるさと納税は自分が生まれ育った市町等を支援することであったが、取り組みやすい返礼品が目的となり趣旨から離れて行っていると思うが。

〔答〕返礼品については、市の特産品のPRという側面もあるため充実をさせたいが、寄附とは分けて考えた。

〔問〕寄附者一人一人に使途を公表するのか。

〔答〕寄附金の合計で、この

事業ができたとの公表なので個々には考えていない。

〔問〕企業の法人税の関係で損金算入できるとある。また税額控除の措置を早く図ってほしいと考えるが。

〔答〕損金算入できるが今回企業からの寄附を、そのまま団体へ、という事ではなく市の予算を通していくため内部の委員会等で交付金を受ける側の団体がふさわしい事業や規模を有しているのか審査をしていく。

ただ、28年度の税制改正で企業版ふるさと納税の概念がでてきた。

地方創生に絡む地方再生計画を立てた市町村が、その計画に沿って国が認めた計画に寄附をいただくことで税額控除できるため早く計画を立て拡充を図っていく。



返礼品

平成27年度教育委員会点検と評価について

平成20年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検と評価を行うことや議会へ評価の結果を報告し公表しなければならぬとされている。

また、教育委員会において外部の方々の意見を聞きながら、加東市の教育の点検と評価を行い、諸事業の成果と課題を明確にし、次年度への発展につなげていく。

27年度の加東市の教育のローガンは、21年度から目指している「人間力の育成」とし、おおもむね成果を挙げた。

今後は新たに策定する「第2期加東市教育振興基本計画」(平成28年度から32年度)に沿って「学びから新しい自分づくりと地域づくりを目指す加東市に！」の実現のため積極的に取り組む。
 (評価A→大変よかった・B→よかった・C→余りよくなかった・D→大変よくなかった)

【問】子どもの貧困率が16.3%、また各地で子ども食堂ができてきたが加東市の現状は。

【答】加東市の要保護・準要保護家庭は10%程度ある。極端に増えているが、ネグレクトも含め対策を講じていく。

【問】生涯学習課の施設の管理運営の課題は、昨年と同じであるが、今年度、防犯カメラの予算が付いていないのはなぜか。

【答】不法侵入者の対策として警察の巡回もお願いしているが、防犯カメラについては防災課と検討し予算化していく。

【問】理数教育は昨年と同じB評価であるが、理数の先生が不足しているのか。

【答】中学校は教科担任制であり、必要数の確保はできている。現在、各学校の理数教育担当教員が中心となり、コンテンツ・ワークショップを作成している。それを活用する段階になればA評価となる。

【問】加古川流域歴史民俗資料館は、昨年同様A評価であるが、無人であるため見学希望者は滝野公民館に申し出るようになってきているが、

成果は挙げているのか。
 【答】入場者数は維持できているということでA評価とした。28年度は、市制10周年記念特別展「加東市の文化財」として、これまで展示していないものも3地域で公開していきたい。

行政視察

【視察先】
 京都市立凌風小学校、凌風中学校(凌風学園)

【視察項目】
 小中一貫教育の取り組みについて

【開校時期】平成24年4月
 【児童・生徒数】787名
 【建物の概要】
 場所 京都市南区東九条
 構造 鉄筋コンクリート造
 地上5階、一部6階
 敷地面積 約13,500㎡
 延床面積 約16,100㎡



施設の特徴

- ・9学年が共に学ぶ、明るくゆとりのある学習空間
- ・9学年すべての普通教室を南側に配置
- ・8×9mのゆとりある普通教室、将来的な児童生徒増にも対応できる多目的教室を配置
- ・学年単位の集会や学習発表等の多様な教育活動に利用できるオープンスペース等を配置
- ・1〜2階の教室は運動場側から出入りし、階段や下駄箱を各教室に設置
- ・施設中央に吹き抜けの中庭を配置し採光、通風を確保

【指導形態】
 ・1〜6年↓学級担任制
 ・7〜9年↓教科担任制
 ・5〜6年 小学校英語科
 (6年は中学校籍英語科教員と学級担任で)
 ・6年 音楽
 ・5〜6年算数の一部単元
 (年間10時間)
 (中学校籍数学教員と学級担任で)
 ・5〜6年家庭科の一部単元(年間20時間)(中学校籍家庭科教員と学級担任で)

・4×3×2の3ステージ制

- ◎第一ステージ1〜4年まなびの基礎を身につける
- ◎第二ステージ5〜7年新たなステージで広げる・深める・高める
- ◎第三ステージ8〜9年今を知り、未来を見つめて行動する

成果

- 【学習指導】
- ①学習規律の定着
- ②学力の向上
- 【生徒指導】
- ①中一ギャップの解消
- ②不登校の減少
- ③問題行動の減少
- ④モデルの存在



- 【教職員の意識】
- ①価値観の共有
- ②9年間の系統性
- 【教職員の力量】
- ①授業力の向上
- ②組織対応力の向上

課題

- 【児童・生徒に関する課題】
- ①6年生の活躍の場がなくなる
- ②4年生のリーダーシップが問われる
- ③小5ギャップ
- 【教職員に関する課題】
- ①小中学校の文化の違い
 ↓小中教員の意識のズレ
- ②中学校籍の一部教員の授業数の増加による負担
- ③9学年の行事や取り組み、会議等の調整の難しさ
- 【管理運営に関する課題】
- ①会議の増加
- ②提出書類について小中で別の書式
- ③三つの時間軸(小・小中・中)に関わる管理職・特定教員の負担増
- ④校長の小・中兼務に関する時間的・経済的な負担



凌風学園

太陽光発電施設設置に関する請願を採択 ～国へ自然・住環境への配慮を求める意見書を提出～

産業厚生常任委員会

付託議案審査

本会議初日に審査を付託された「請願第28-1号」について審査を行った。

審査においては請願者と紹介議員を参考人として招致し意見を聴くとともに、現地調査を実施した。

その後、参考人及び市の生活課に質疑を行った。

請願第28-1号

【件名】太陽光発電の実施にあたり、自然・住環境との調和を求める請願

【理由（抜粋）】県立自然公園内に位置する東条湖周辺の豊かな自然が残る地域において、住居近隣に無機質な自立した太陽光パネル群が点在してきており、その数は増え広がり続けている。ある日突然、隣の敷地の雑木林が伐採され、太陽光パネルが設置されていく。良好な景観が無残にも損なわれ、住宅地としての魅力ある環境が壊されている。また、急傾斜地への施工による防災上の不安、反射光による生活環境の破壊など

もある。

太陽光発電の再生可能エネルギーとして意義は理解するが、自然との調和、社会・地域住民との調和を尊重した上で取り組むべきと考える。

【趣旨】

一、太陽光発電と自然・住環境との調和に配慮した条例を制定すること。その際、電気事業法における国への届け出の対象外となっている50kW未満の施設についても、市への届け出を義務付けること。また、周辺住民との意見調整や景観上の配慮、土砂災害防止などの項目を盛り込むこと。



一、国に対して、太陽光発電にあたって、自然や住環境に配慮するように求める意見書を提出すること。

請願者への質疑・応答

【問】地区の代表者等との話し合いはしたのか。

【答】廻測地区とは接点がないため行っていない。秋津台は古家地区長と話し合い情報提供をしている。

【問】業者から事前説明の申し出等の接触はあったか。

【答】土地買収時には接触があった。工事着工の事前説明等は一切なく、工事中に接触したら口論になった。

【問】住民の生活が脅かされる具体例はあるか。

【答】電磁波アレルギーの方が平穏を求めて大阪から移住されたがそれも叶うことがなかった。

【問】条例を制定するには国の法律に則らなければならぬのは認識しているか。

【答】認識している。太陽光発電を否定するものではないが、共生するには、ルールも必要だと思う。



【問】森林の伐採で法に違反する開発があったが指導したのか。

【答】現地を確認して直接指導を行い、農林課とともに文書でも指導したが、工事は中断されていない。

反対討論

■願意は理解するが、条例での規制は慎重にすべきである。また、他地区の現状も調査が必要であり継続審査とすべき。

(二階・高瀬)

賛成討論

■無秩序な開発には規制をかけるべきである。議会として住民の民意をくみ、行動し、行政当局を動かすべきである。

(桑村・藤尾・小紫・石井)

賛成多数で委員会にて採択

【問】請願の内容を確認して市の考え方はどうか。

【答】太陽光パネルに絞った規制はない。国が太陽光発電を推進している状況で規制するのは難しい。しかし、住民が困っている現実があるので秩序あるものにした方がいい思いがあり、まだ結論は出ていないが庁内で検討中である。



加古川流域の内水浸水被害対策

～滝野地域河高地区安取にポンプ場整備へ着手～

	27年度	28年度	29年度	30年度	事業費
地区説明会	■	■	■		0
基本計画等	➡				13,824千円
調査・設計 用地取得等		➡			92,100千円
整備工事等			➡	➡	263,520千円

所管事務調査

河高地区安取ポンプ場整備事業について

【整備目的】河高地区安取の内水浸水被害対策として排水ポンプ場を整備する。

【背景】豪雨時に安取周辺に降った雨が安取樋門に集中し、加古川本流へと流れ込むが、降水量によっては内水浸水被害が発生していた。その対策としてポンプパッケージ車2台を導入して対応してきた。



安取樋門

【問】ポンプ場整備によりポンプパッケージ車は不要となるのか。
 【答】他の河川で逆流による内水被害対応に使用するの
 で不要とはならない。
 【問】平成16年の台風23号と同等以上の豪雨でも対応可能なのか。
 【答】ポンプパッケージ車の18倍の能力があり、計画しているポンプ能力で十分排出できるものと考ええる。
 【問】加古川の本流が上昇した場合にポンプ場を緊急停止することはあるのか。
 【答】加古川の堤防が破堤の危険性が高まり、国交省が樋門を閉めた場合にポンプを停止する可能性がある。



滝野浄水場（北野地区）

広沢浄水場と滝野浄水場の統合事業について

【目的】人口減少社会と水需要の減少を見据え、必要な浄水能力を確保しつつ、建設費や将来の維持管理費の抑制を踏まえ、二か所ある浄水場を統合する。

【背景】社地域の山国地区に位置する「広沢浄水場」と滝野地域の北野地区に位置する「滝野浄水場」は、共に昭和48年に建築されて既に築後43年を経過し老朽化が進む未耐震の浄水場である。

【問】新しい浄水場の建設場所はどこか。
 【答】新しい統合浄水場は広沢に建設する計画である。

理由は滝野浄水場より広沢浄水場が高い位置にあり、自然圧で送水が可能であり、

ポンプで圧送する必要がないため合理的であると判断している。

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	事業費
基本計画等	➡							30,726千円
認可申請等		➡						19,980千円
実施設計等			➡					70,000千円
建設工事				➡	➡	➡		1,675,000千円
送水管設計等				➡				12,000千円
送水管布設工事					➡	➡		193,000千円
滝野浄水場除却工事							➡	30,000千円

第10回 議会報告会

平成28年5月14日(土) 社福祉センターにて

テーマ「平成28年度予算」「加東市の子育て、教育について」

【概要】
今回の報告会の目的は、子育て世代の保護者にも参加していただき、未来ある意見交換ができればと計画したものである。

28年度予算について

【問】加東市で先般、介護殺人事件があったが相談件数が34回もあったのに、市の対応がまずかったのではないか。

【答】この件に関しては、市は相談に対して、しっかりと対応している。

【問】病院事業の収支がマイナス8億円になっているが赤字補填と貸付で対応している。貸付となると返済しなくてはいけないと思いが。

【答】医療外補助金が3億円余り、2億円の特別補助金で赤字補填として埋めている。今回初めて貸付金として3億円を上げているが、今後の動向を見極めていくしかない。

【問】議長車の使用について
【答】互助会費等の引き出し、会議合間のお茶の買い出しに利用することがある。個人の用に使用してはいない。

意見交換会のご意見

😊 今回初めて参加させて頂きました。自分の住む町の事をもっと勉強、興味をもって生活をしないといけないと思いました。

😊 保育料、無料にしてほしいです。働いても、保育料の支払いで生活がきつくなる。医療費の無料も高校までにしてほしい。

😊 以前に、保護者（子育てママ）の意見を言う場があったので、そういう場があればと思います。

議会報告会

- ・参加者 16名
（男性10名・女性6名）
- ・アンケート提出者10名



次回は以下の会場で開催します。
皆様、お気軽にお越しください。

2会場で開催!

日時：8月6日(土)
14時～16時

場所：①上鴨川公民館
②とどろき荘

内容：第1部/6月定例会の報告
第2部/小中一貫校について



兵庫県功労者表彰

この度、二階一夫議員が町議会・市議会議員として15年以上在職し、議員として永きにわたり地方自治の振興と高揚及び住民福祉の向上に尽力したとして、兵庫県から表彰されました。



【受賞にあたり】
この度、榮譽のある賞を頂き、大変光栄に思っています。

平成11年4月に東条町議会議員となり現在まで、市民の代弁者として頑張ってまいりました。

この度の受賞を機に、今後も「旧3町、格差のないまちづくり」に、ますます精進していく所存でございます。

一般質問



公共施設のフリーWi-Fiスポット (公衆無線LAN)の拡充について

石井雅彦 議員

問 スマホの普及で、公衆無線LANの重要性が高まっている。熊本地震の折にも災害の様子や避難所での必需品の要望など公衆無線LANを使つてスムーズに発受信し、防災の点でも一役買つていた。今後公共施設を利用する市民が快適に利用できる環境を整備していく必要があるのではないかと思うが、現在公衆無線LANが使える施設はどこか。

答 市庁舎を含め4施設で、その内観光施設(道の駅とうじょうとやしろ鴨川の郷)は観光協会で整備されている。

問 各図書館や各文化会館等も今後検討の余地があるか。

答 基本的にはこういう箇所も整備を進めていきたいが一定のアクセス制限も加えた上



※スマホとタブレットイメージ写真

で計画的に整備をしていきたい。

問 青少年健全育成の観点からも慎重に検討していきたいとは、どういった問題があるのか。

答 不適切なサイトなどへのアクセスを制限する必要があるため、防止機能をもった機器の整備など、教育委員会と連携を図る必要がある。

問 その他の観光施設についても更に拡充を検討されるか。

答 利用者の利便性や観光案内、市のPRの面から有効なツールであり、積極的に推進していきたい。



特別養護老人ホームの不足、市はどう取り組まれるのか

藤浦 巧 議員

問 特養の定員は214人と聞いている。今、少子高齢化社会であり現在、高齢化率が25・3%である。

今後、特別養護老人ホーム入所希望者がますます増加すると推測されるが、市はどのように対応するのか。

答 平成25年度に特別養護老人ホームを60床増床したこともあり、平成27年度から平成29年度を期とする第6期加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、施設整備を行わない計画になっている。しかし、今年度から第7期の同計画の策定に取りかかるので、同策定委員会で慎重に検討いただくこととする。



○市民病院の改革案として、特別養護老人ホームへ転換させることについて

問 市民病院を診療所に縮小して運営し、不要となる入院病棟を特別養護老人ホームに転用すれば150人程度受け入れることが可能だと思つた。これに対する当局の考えを問う。

答 市民病院は地域医療機関として市民の命を守る役割があり、今の経営状況から如何に赤字額を圧縮させるかに向けて創意工夫に努め、経営改善を図っている。

先述の役割や、今後の地域包括ケアシステムにおける役割など、市民病院の存在意義を否定するものであると受け止めざるを得ない。



**まちぐるみ総合健診での
慢性閉塞性肺疾患(COPD)
検査採用について**

小紫 泰良 議員

問 タバコを吸っている人に知っておいてほしい病気が慢性閉塞性肺疾患(COPD)である。タバコを吸っているから咳や痰が出るのは仕方がないと思っている人がほとんどだが、気づいた時には病状が進んでいることが多いのが特徴である。自覚がなくても病状は進行しており、軽い症状が出てから10数年経って異常を感じたときには重症になっていることが多い。

そこで、まちぐるみ総合健診でCOPD検査を採用してはどうか。

答 COPD検査をまちぐるみ総合健診に取り入れるには、測定するための静かな個室の確保や実施可能人数の制限、専門スタッフの確保や検査に

伴う酸素欠乏の危険等もあり、集団健診での実施としては課題があるのが現状である。

実施にあたってはこのような検査環境を確保できる要件を踏まえつつ、効果的に安全に実施が可能な場を検討していきたい。

そして、今後も市民の皆様にもCOPDの正しい知識の普及を行うことで、この病気で苦しむ方が一人でも少なくなるように喫煙対策に取り組んでいく。



**熊本地震を教訓にした
災害時対策を**

小川 忠市 議員

問 熊本県を中心に震度7の大地震が発生し、甚大な人的・物的被害をもたらした。

我々はこれまでに多くの大震災を教訓として地域防災計画に活かしてきたが、今回の震災も貴重な教訓として今一度、高度で、ありとあらゆる事態を想定した防災計画を練り直す必要があると考えるが、

答 熊本地震を受け、市も、国、県の指針に基づき防災計画を見直していくとともに、過去の災害を教訓に様々な災害対策事業を実施する。

地震災害は、時期や場所、規模などの予想が大変困難であり、想定を超える事態が近年、全国的に発生している。実際の災害に直面した場合、最も重要なことは想定を超え

る事態に対していかに迅速・適切に対応できるかであり、知識や経験に裏付けられた即時対応能力が求められる。

そのため、今後の市の総合防災訓練などにおいては、より現状に即した実践的な訓練が行える内容にする。

その他の質問

■袋地に建つ空き家について





若者の政策形成過程への 参画について

長谷川 幹雄 議員

問「市において、若者議会の開催、審議会等における若者の登用で活性化、定住促進の考えはあるのか。」

答 若者の活力は、まちの発展や活性化に大いにつながるものと考えている。これまで兵庫教育大学や、所高校などと連携を図ってきた。平成24年の学生フェスタでは、市内の中学生、高校生、大学生からまちづくりの意見を聞き、早急に取り組むべき事項として、防犯灯の設置強化をはじめとした通学路の安全対策を進めてきた。

国道175・372号交差点周辺活性化基本計画を推進する事務局に若手職員を配置し、若者の感性を取り入れた施策が展開されている。

市の各種審議会の委員の選任にあたっては、広く市民の皆様のご意見を市政に反映させることを基本としており幅広い年代の方に参画いただきたい。

また、市では若手職員による自由な発想でまちづくりに取り組む政策集団、「ゆめいく」を組織しており、市の魅力を発信し、定住促進につながる施策の検討を進めている。

現在、市の最上位計画となる第2次総合計画策定に着手している。次代を担う若者の意見を集約できる機会をもち、計画に反映させ、新しいステージ加東の実現に取り組んでいきたい。

問市の18歳から19歳の有権者数は何人か。
答 約840人である。



北はりま消防組合移転後の 庁舎の活用について

岸本 眞知子 議員

問 播磨中央公園に隣接する旧滝野庁舎一帯の光景から醸し出される環境づくりの観点から言えば、北はりま消防本部の移転後の庁舎をミュージアム等に活用することにより、魅力的な施設づくりとなり播磨中央公園との相乗効果も増すと考えられるが。

答 平成30年度に本部機能が、平成37年度に消防指令センターが西脇市に移転することが決まっている。

公共施設適正配置計画年次計画では、1階部分は災害用備蓄倉庫等に転用し、2階部分については3階の通信指令業務に支障のない範囲で有効利用を図ることとしているが、具体的なことについては今後協議・調査を行い決定したい。

平成37年度以降の利活用については、加東市公共施設適正化に関する計画の基本方針に沿った検討を進める中で、今回の質問に関しては、転用施設の有効活用という観点での提案と受けとめる。

○播磨中央公園の有効利用について

問 総面積382haと都市公園として県下最大級である県立播磨中央公園の位置付けと有効利用の考えは。

答 年間40万人が訪れるのは魅力的である。周辺には加東市の施設も立地していることから、公園を活用した市の事業の実施も検討し、公園との連携強化を図り、観光資源として一層活用していきたい。



学校給食について

山本通廣 議員

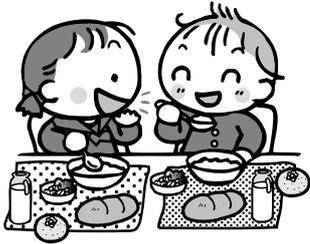
問 「給食の食材にとかく問題の中国産食材が使用されているのではないか、実情はどうか。」

答 加東市産、国産の食材をできるだけ使用し、安全・安心なものを提供している。中国産では、一部七味唐辛子などの調味料に少量使っている。**問** 県内にも、給食の無償化の市があるが、子育ての充実、人口減少対策の一環として、近隣市町に先駆けて無償化すべきであると思うがどうか。

答 給食費に関しては、保護者から材料費のみを負担していただくことになっている。受益に対して応分の負担をしていたらどうかである。現段階では、無償化は考えていない。

問 震災などの危機管理の対応策として、小中一貫校に各自校給食設備を整備すべきであると思うがどうか。

答 自校方式については、温かい食事などメリットがあるが、一方で設備、人面で大きな負担となる。防災上の観点においても無理がある。災害時、そこが防災拠点になることあるので、防災機能向上のための施設整備を検討する必要があるので考えている。



議会基本条例の 市長事務関連事項について

大畑一千代 議員

問 議会基本条例は議会にしか制定改廃の発案権はない。市長が手出しできないこの条例で、市長の権限を制限している任意的議決事件の規定についての見解は。

答 議決事件の追加は二元代表制の趣旨と行政の効率性から無制限ではなく、議会と長の真摯な議論に基づき決定すべきもの。この条例制定当時、十分議論が尽くされたという状況ではなかった。改めて議会と調整させてほしい。

問 議決事件とする計画名の後ろにある「を策定する」というとらえ議会が主体的に作成すると解釈する議員がいることについての見解は。

答 計画は市長が立案し議会が審議するものと理解しており、議会が主体的に作成するとは考えていない。

問 加東市議会は自ら策定したこの条例に定める手続きを無視し、議員定数や議員報酬を変えてしまった。議会が守らない議会基本条例を市長は守るべきと考えるのか。

答 法令を遵守する立場であり、どのような理由があるにせよ条例は守るべき。

問 広範囲にわたる事務の評価を、個々の議案審議、採決を通じて市民に明らかにせよとの規定があることから、議案でない部分で反対されることの見解は。

答 反対される内容が長の権限を侵す場合は、地方自治の本旨に反すると考える。

問 採決直前の理事者の発言機会付与について。

答 議論を尽くす上から望むべきこと。



地域公共交通全般の 取り組みと進捗状況について

磯貝 邦夫 議員

問 地域公共交通全般の取り組みと進捗状況は。

答 加東市地域公共交通網形成計画を策定中である。

基本方針として、

① 土地利用に応じた機能的なまちづくりを支える地域公共交通の維持・活性化

(Bioにバスターミナル)

② 定住化・交流の促進を旨とした地域公共交通のネットワークの形成(スクールバスの有効活用の検討)

③ 多様性のある利便性の高い地域公共交通の利用環境の形成(デマンド型も含めタクシーの有効活用を検討し福祉タクシー事業の見直しを検討)
④ 地域ぐるみで守り・育てる持続可能な地域公共交通の確立(2カ所で実施している市

町村運営有償運送を新たな地域にも事業を拡大していく予定)

次回8月8日の協議会において各施策のスケジュール等を含めて素案を協議していく予定である。

問 実証実験等行程を示し早く形を現すべきでは。

答 まず地域公共交通網形成計画の策定をきっちり行う必要があることをご理解いただきたい。

その他の質問

■ 私債権管理
条例制定後の状況と課題
について



地域包括ケアシステム 確立に向けて

藤尾 潔 議員

問 4月に介護について、傷ましい事件があった。今後の課題は。

答 再度、関係者が集まり、検証・意見交換を行った。要介護者やその家族のわずかな変化にも気づくよう積極的に研修会に参加し、スキルの向上を図る。地域ケア会議の開催等を通じ、関係機関との情報共有をより綿密にするよう確認した。

問 日常生活圏域(中学校区単位)に設置すべき地域包括支援センターを、市役所1か所で総括していることが適切なのか。また、相談があったから動くのではなく、市役所の側から積極的に実情把握に出向く「アウトリーチ」の重要性も指摘されているが。

答 平成27年度の制度改正により、地域包括支援センターを取り巻く状況が変わってきている。次期計画の策定時には、日常生活圏域ごとに設置することも含め、慎重に検討していく。また、アウトリーチの必要性は、十分に感じている。高齢者の集まるところに極力出向き、支援が必要な高齢者の情報を拾い上げるほか、特に支援が困難なケースには、より細かく訪問する等、できることから順次進めていく。

問 インターネットを介して事業の資金を募るクラウドファンディングの導入についての見解は。

答 寄附制度の充実を図る中で、法的な部分の整理なども含め、前向きに考えている。

